特許協力条約

.PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

	1	4	JUL 2005
WIPO	_	_	PCT

出願人又は代理人 の書類記号 FA-K-1-8	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。						
国際出願番号 PCT/JP2004/009509	国際出願日 (日. 月. 年) 29.06.2004	優先日 (日.月.年) 04.07.2003					
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. C04B28/02, 14/02, 14/04							
出願人 (氏名又は名称) 鹿島建設株式会社							
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	この国際予備審査機関で作成された国際予 の規定に従い送付する。	備審査報告である。					
12 この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で 3 ページ	クからなる。					

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 「 附属掛類は全部で ページである。	
「 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求 囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)	その範
「 第 I 欄 4 . 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものと 国際予備審査機関が認定した差替え用紙	<u>:</u> この
b. 「 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示配列表に関する補充概に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するである。 (実施細則第 802 号参照)	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。	,
▼ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎	
厂 第Ⅱ欄 優先権	
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成	
■ 第10	٠,,
▼ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを けるための文献及び説明	处付
第VI欄 ある種の引用文献	
第三次の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	
第四欄 国際出願に対する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 31.01.2005	国際予備審査報告を作成した日 28.06.2005
名称及びあて先 日本国特許庁(I PEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区録が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 4T 9728 武重 竜男 電話番号 03-3581-1101 内線 3465

1 作羽 :			
	報告の基礎		
この国	国際予備審査報告は、下記	記に示す場合を除くほか、国際出	願の言語を基礎とした。
- -	の報告は、	語による翻訳文を基礎とし	た。
7	それは、次の目的で提出さ	された翻訳文の言語である。	
	PCT規則12.3及び2		
Г	PCT規則55.2又は5	5.3にいう国際予備審査	
, このi 差替え	報告は下記の出願書類を 用紙は、この報告におい	基礎とした。(法第6条(PC? て「出願時」とし、この報告に	C14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され 系付していない。)
V	出願時の国際出願書類	•	,
14	,		
Г	明細書	a a dispersion	
	第	ページ、出願時	に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
•	第	ペーシ*、	一
	第	ペーシ*、	110 に国际が開催国域内が文章したもの
<u></u>	請求の範囲	•	· '
,	60c	項、出願 ^時	に提出されたもの
	第		付けで国際予備審査機関が受理したもの
<u> </u>	図面		
•	第 4	ページ/図 、 出願	時に提出されたもの
	笛	ページ/図 *、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	277		ルルー国際マ典宏本機関が再用したもの
	笙	ページ/図 *、	付げで国際で帰番宜機関が支柱したもの
			時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
·	配列表又は関連するテ	ープル	付げで国際下偏番追機関が支煙したもの
·	配列表又は関連するテ		付けで国际ア帰番は依例が文母したもの
· _	配列表又は関連するテ	ープル	付けで国际ア伽番は依例が文母したもの
Г	配列表又は関連するテ	ープル 充欄を参照すること。	付げで国際了媚番追않例が文座したもの
	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。	
, , , ,	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。	·
г з. г	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第	ページ 項
Г	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書 「明細書」 「	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 第 第	ページ 項
г 3. Г	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書 「明細書」 「	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 (記載すること)	ページ 項 ページ/図
г 3. Г	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書 「明細書」 「	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 第 第	ページ 項 ページ/図
г з. г	配列表又は関連するテ 配列表に関する補 補正により、下記の書 「明細書」 「	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 (記載すること)	ページ 項 ページ/図
	配列表又は関連するテ配列表に関する補正により、下記の書情では、下記の書情がの範囲 図面 配列表(具体的に 配列表に関連する	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 第 記載すること) テーブル(具体的に記載するこ	ページ 項 ページ/図 と)
	配列表又は関連するテ配列表に関する補 補正により、下記の書 補正により、下記の書 開業の 開業の の配列表(具体的に に配列表に関連する この報告は、補充概に えてされたものと認め	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーブル(表替的に記載すること)	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
Г 3. Г 4. Г	配列表又は関連するテ配列表に関する補 補正により、下記の書 補正により、下記の書 開 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 関 重 する この報告は、補 充 概 に えてされたものと 別 無 告	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 窓 載すること) テーブル(具体的に配載すること) テーブル(具体的に配載すること) テーブル(具体的に配載すること) テーブル(表替に、この報告に添付しまれるので、その補正がされない。	
	配列表又は関連するデ配列表に関する補補正により、下記の書詞を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーズル(表別ので、その補正がされない。 第 第 第 第 第 第 第 第 第	
	配列表又は関連するテ配列表に関する希補正により、下記の書補正により、下記の書間の開から、下記の書間の関連を関連を関連を表に関連を表に関連を表し、一の報告は、補充と認めてきれたものできれたものできれたものに、対象に関連を表して、対象に関連を表して、対象に関連する。	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーズル(表ので、その補正がされない。 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーブル(具体的に記載すること) ラテーズル(表ので、その補正がされない。 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図
4. Г	配列表又は関するティー では、	ーブル 充欄を参照すること。 類が削除された。 第 第 記載すること) テーブル (具体的に配載すること) こことがされないで、その補正がされないで、その補正がされないで、この報告に添付している。	ページ 項 ページ/図 と) されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 かったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c)) ページ 項 ページ/図

. 見解			
·			· ·
新規性(N)	請求の範囲	1-4	
	請求の範囲		A
			. ,
進歩性(IS)	請求の範囲		
	請求の範囲	1-4	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1 - 4	7
座来上の利用可能性(1.47)	請求の範囲		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: JP 2001-261414 A (鹿島建設株式会社) 2001.09.

26、特許請求の範囲、第【0014】-【0022】段落

文献2: JP 2001-278653 A (太平洋セメント株式会社) 2001.

10.10, 特許請求の範囲, 第【0001】, 【0002】, 【0020】 - 【00 29】段落

文献3:JP 2001-240455 A (旭化成株式会社) 2001.09.0 4.特許請求の範囲,第【0001】,【0018】-【0028】段落

文献4: JP 2001-226160 A (太平洋セメント株式会社) 2001.

08.21,特許請求の範囲,第【0001】-【0004】,【0022】-【0025】段落

請求の範囲1-4に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1および文献2-4より進歩性を有しない。

文献1には、コンクリートに用いられる骨材の一部を、吸水率が12~20%、圧壊荷重が1000~2000N、且つ絶乾密度が1.4~1.8g/cm³の人工軽量骨材を採用することで、セルフキュアリング機能の発現により、収縮の低減を図ることができる旨の記載がなされている。よって、文献2-4に記載されているような収縮の低減が要請されている超高強度コンクリートにおいて、用いられる骨材の一部として、文献1に記載された上記人工軽量骨材を採用することは当業者にとって自明である。